

～もし、腰に痛みやしびれを感じたら～



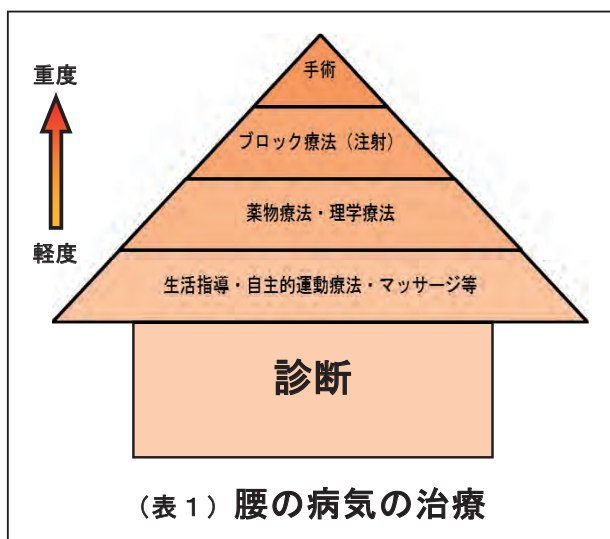
川崎幸病院
整形外科部長
原 淳



現在腰痛関連疾患の有病者は約 2500 万人とも言われています。

腰の病気イコール腰痛というイメージかと思われがちですが、腰痛以外にも臀部痛や坐骨神経痛、間欠性跛行（かんけつせいはこう：休み休み歩く）、足の痛み・しびれ、腓脛部痛（足の付け根の痛み）や排尿・排便障害（頻尿や便秘など）多彩な症状で発症します。痛みやしびれは自覚症状の中でも**表現法が難しく**怪我や特殊な動作後のものは原因もはっきりしますが、いつ起こり始めたかわからない鈍痛や違和感などでは放置されがちです。

もしも、前述したような症状が現れたら…



●まず大切なことは正しい診断です！

病院を受診し、**必要な問診、診察と検査**を行います。ここが**最も重要**です。長く続く症状は最初と診断が変わってくることもあります。

初期の診断と治療で効果が得られない場合は、再度診断を必要とします。

〈当整形外科では診断を丁寧にいきます〉

●次に‘診断’あつての‘治療’となります。

治療には**生活指導、物理療法や運動療法**（一般的にリハビリといわれるもの）、**投薬**（内服・注射・ブロック療法）、や**手術療法**があります。その他医療類似行為として鍼灸、マッサージ、整体などもあります。

(表1)

症状が軽減改善する方法が良いのですがごく短時間の効果しか得られないものは適切な治療とは言えません。痛みが強い場合や長期化する場合は**治療段階を上げるべき**と考えます。〈当整形外科では適切な方法を患者様に提示し、治療に当たります〉

当院では入院や手術などの高度な治療が必要な場合には更に精密検査を行い、できる限りの**低侵襲手術**（Minimum Invasive Surgery：MIS）を行っています。

例えば**椎間板ヘルニア**では内視鏡を取り入れ、**脊柱管狭窄症**に対しては細かな分類を行った後、神経除圧術、固定術を選択しいずれも**低侵襲な方法**にて行っております。

腰に不安を感じている方は一度ご相談ください

(お問い合わせ先)
川崎幸クリニック TEL：044-511-2112

